

【付表1】

平塚市ラグビースクールコーチ資格認定要綱

平塚市ラグビースクールの目的に賛同し心身ともに健全な青少年を育成するために自分を高められる人材であること。

- ① 運営部会の2名以上が推薦できる人物であること
- ② 年齢は16歳以上とする。
- ③ 心身ともに健康であること。
- ④ 暴力的な発言・行動がないこと。
- ⑤ 当スクールSNSや他の媒体にハラスメントにつながる投稿をしないこと。(していないこと)
- ⑥ スクール練習に2か月以上継続して参加していること。
- ⑦ ラグビーにおける安全やスキルを習得することに努めること。
- ⑧ スタッフ・保護者との関係性を重視し、常に運営部会とのコンセンサスを取り個人的な行動や活動でスクール運営を乱さないこと。
- ⑨ 他のスクールや団体等に引抜行為を行わないこと。
- ⑩ 過去に特定の持病(精神性疾患、重病難病)をもっていないこと。
- ⑪ 運営部会の決定には理解をしていただくこと。
- ⑫ 当スクール活動に際し、ふさわしくないと判断した場合は退校に処する場合がある。

上記に記載のない条項については随時運営部会・指導部会で協議し決定通知を行う。

平成 30 年 4 月 1 日

平塚市ラグビースクール運営部会

7つの提言

スポーツに関わる全ての人々が、「7つの提言」を参考にし、新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実現することを目指します。

1. 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くす

暴力やハラスメントを行使するコーチングからは、グッドプレーヤーは決して生まれないことを深く自覚するとともに、コーチング技術やスポーツ医・科学に立脚したスポーツ指導を実践することを決意し、スポーツの現場における暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くすことができる。

2. 自らの「人間力」を高められる。

コーチングが社会的活動であることを常に自覚し、自己をコントロールしながらプレーヤーの成長をサポートするため、グッドコーチに求められるリーダーシップ、コミュニケーションスキル、論理的思考力、規範意識、忍耐力、克己心等の「人間力」を高めている。

3. 常に学び続ける。

自らの経験だけに基づいたコーチングから脱却し、国内外のスポーツを取り巻く環境に対応した効果的なコーチングを実践するため、最新の指導内容や指導法の習得に努め、競技横断的な知識・技能を常に学び続ける。

4. プレーヤーのことを最優先に考える。

プレーヤーの人格及びニーズや資質を尊重し、相互の信頼関係を築き、常に効果的なコミュニケーションにより、スポーツの価値や目的、トレーニング効果等についての共通認識の下、公平なコーチングを行う。

5. 自立したプレーヤーを育てる。

スポーツは、プレーヤーが年齢、性別、障害の有無に関わらず、その適性及び健康状態に応じて、安全に自主的かつ自律的に実践するものであることを自覚し、自ら考え、自ら工夫する、自立したプレーヤーとして育成する。

6. 社会に開かれたコーチングに努めましょう。

コーチング環境を改善・充実するため、プレーヤーを取り巻くコーチ、家族、マネージャー、トレーナー、医師、教員等の様々な関係者(アントラージュ)と課題を共有し、社会に開かれたコーチングを行う。

7. コーチの社会的信頼を高めましょう。

新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実践することを通して、スポーツそのものの価値やインテグリティ(高潔性)を高めるとともに、スポーツを通じて社会に貢献する人材を継続して育成・輩出することにより、コーチの社会的な信頼を高める。